

取付説明書

アルパイン10.2インチ※リアビジョン取付キット

(※PKG-2000除く)

KTX-Y600VG

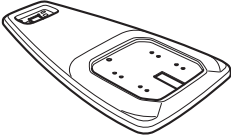
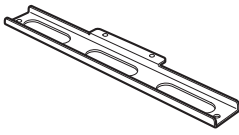
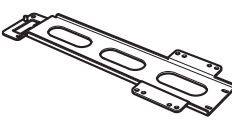
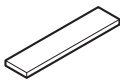
車 種	年 式	型 式
ウィッシュ (サンルーフ無車用)	H15/1 ～H21/4	ANE11W・10G ZNE10G・14G

平成21年4月現在のもので、4月以降の車両は変更されている場合があります。

ここでの説明は、固定用ブラケットの装着方法に限らせていただきます。モニターケーブルや電源の配線方法・場所についての説明は、TMX-R1500/R1100/R1050VG・GB の取扱説明書をご参照ください。

1

構成部品

①固定用ブラケットカバー	②固定用ブラケットA	③固定用ブラケットB	④定用ブラケットC	⑤モール (2.4 m)
			 ×2	
⑥スペーサーφ6×10	⑦トラス小ねじ (M4×15)	⑧なべタッピング (6×25)	⑨なべ小ねじ (M5×10)	⑩なべ小ねじ (M5×14)
 ×2	 ×4	 ×2	 ×2	 ×2
⑪なべ小ねじ (M5×30)	⑫スプリングワッシャーM5	⑬ワッシャーM5	⑭両面テープ	
	 ×4	 ×4		

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

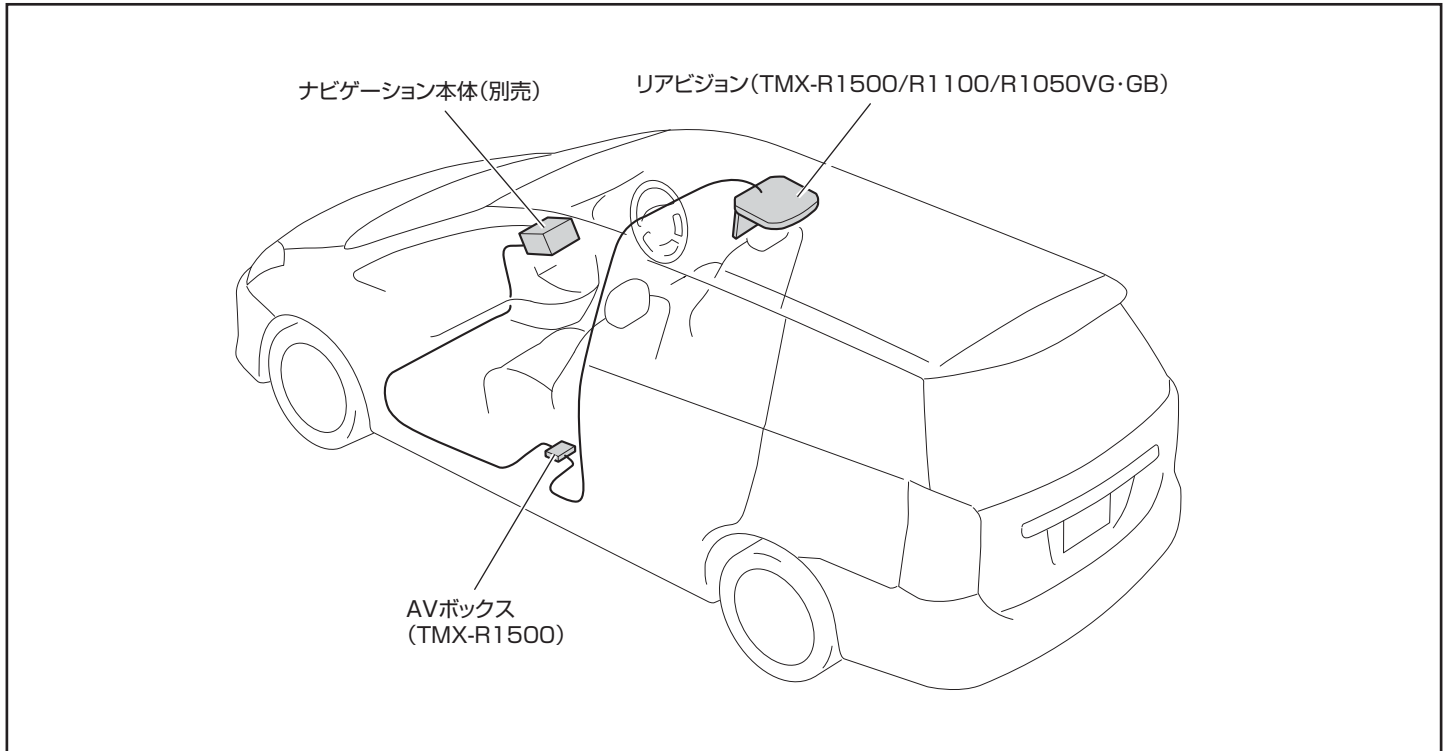
2

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10・14mm レンチ、カッターナイフ、セロテープ、マスキングテープ、保護メガネ、保護手袋(軍手) など、押しピン、電工ペンチ

3

取付概要



安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用の前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



コード類は運転の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



本製品に装着された液晶 TV にぶら下がったりしないでください。事故・破損の原因になります。



本製品には指定の液晶 TV 以外のものを装着したり、本来の目的以外のご使用はおやめください。事故・破損の原因になります。



急発進・急停車等での事故防止のため、後部座席に乗車する際は必ずシートベルトを着用してください。事故・ケガの原因になります。



音がでない、映像が映らない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。画面を見る場合や、操作を行う場合は、安全な場所に停車してください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・故障の原因になります。



水のかかるところ、湿気やほこりの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起物に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



この商品はルーフ内装部に直接装着し、ぶれ防止に内装に密着させて固定する仕様になっています。取り外した後、内装に装着跡が残ることがあります。



付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。



取り付け、配線には、専門技術と経験が必要になります。お買い上げ店に依頼頂く事をお勧め致します。



しばらく走行したのち各部のねじ等の緩みがないか確認してください。事故・ケガ・故障の原因になります。



説明書に従って、加工を行ってください。説明書の指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケガ等に対して、当社は責任を負いかねます。



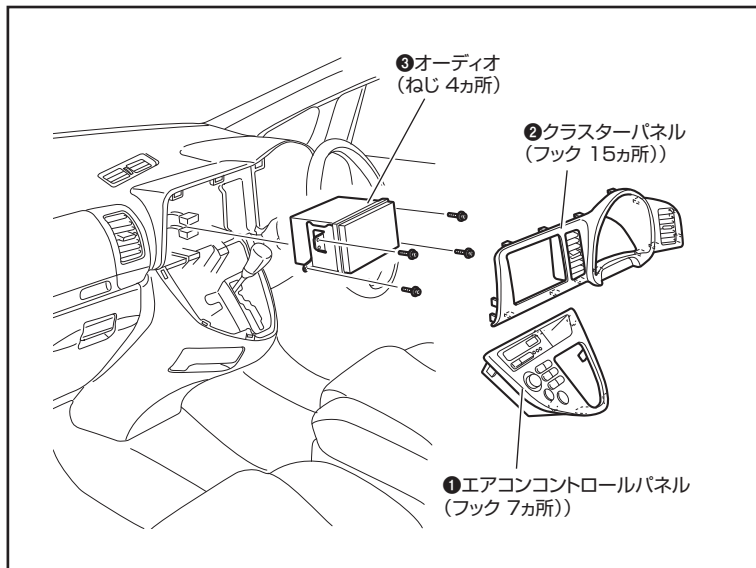
車以外には使わないでください。故障・感電・ケガの原因になります。



電動ドライバーの使用を禁止します。

電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。





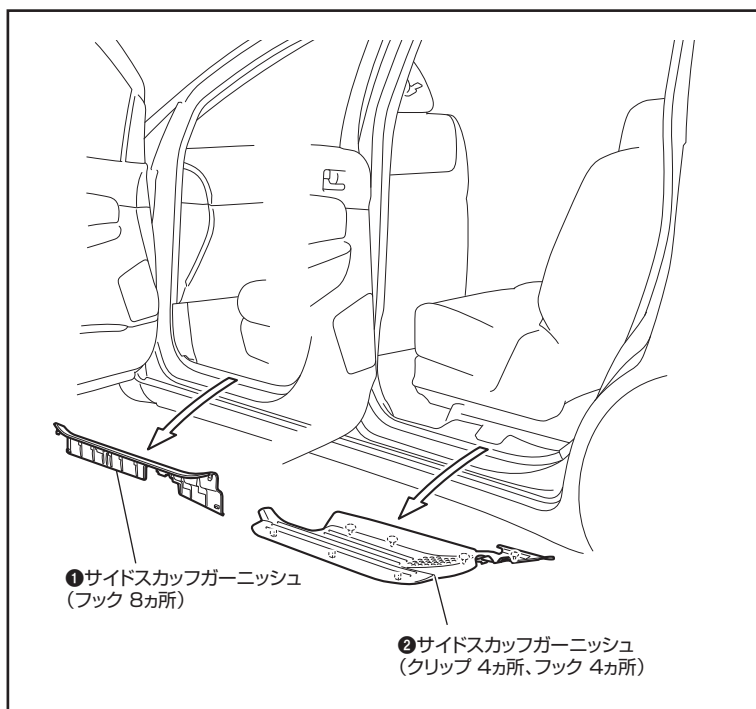
■車両部品の取り外し

【インパネ回り】

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。



【車両サイド回り】

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

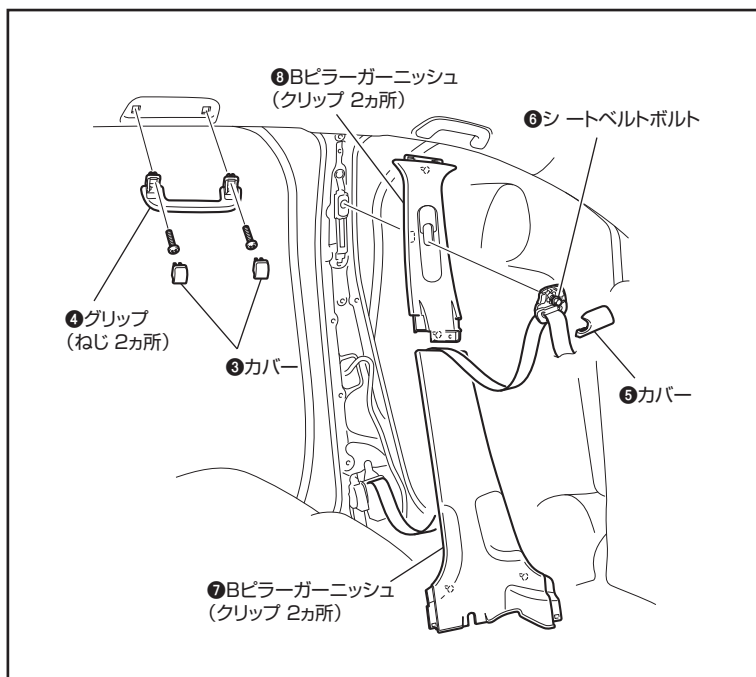


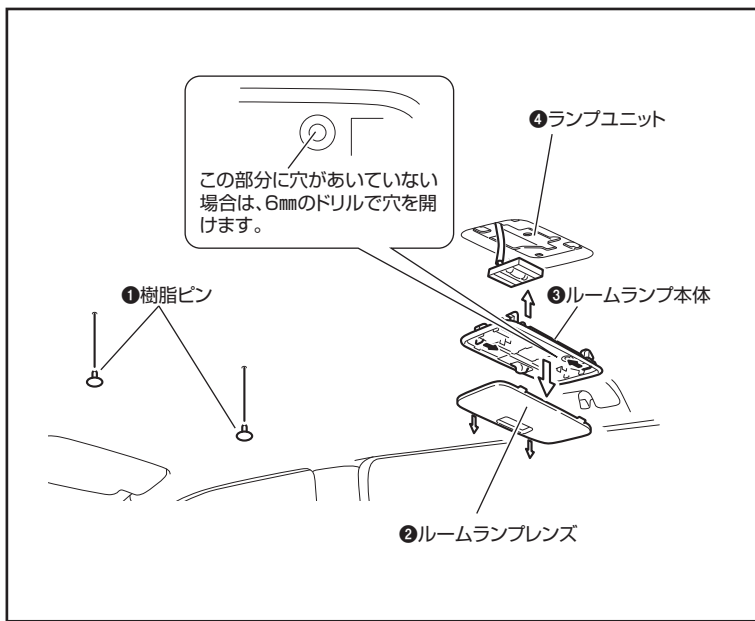
- 注意**
- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。



Memo

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



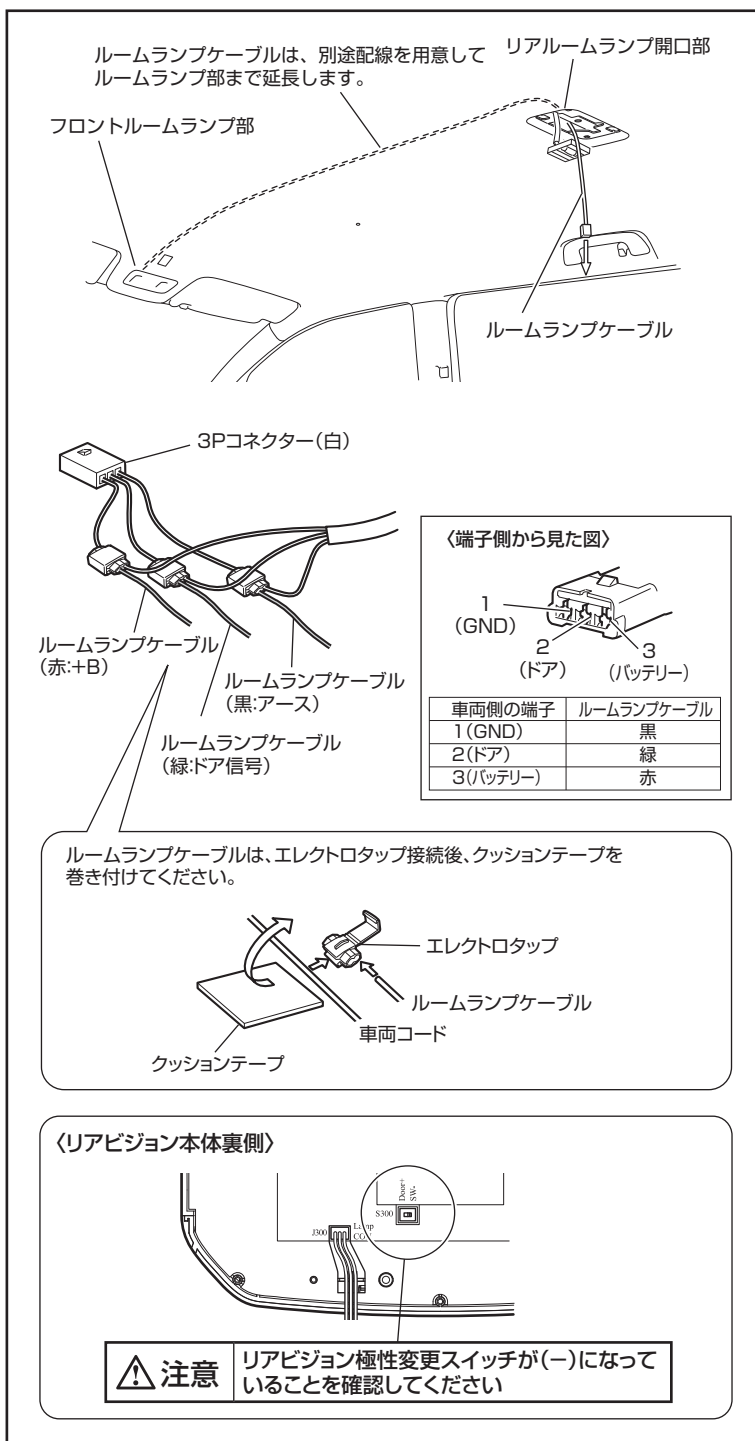


【ルーフ回り】

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

⚠ 注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- 消灯直後は電球が高温になっています。コードを引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 樹脂ピンは内装を傷つけないように垂直に引っばります。
- ルームランプ本体はロックされているフックを指先で解除しながらはずします。



■ルームランプケーブルの配線 (TMX-R1500/R1100のみ)

1. ルームランプケーブルを、フロントルームランプ部からリアルームランプの開口部まで配線します。

⚠ 注意

- 結線は、必ずルームランプケーブルをリアビジョン本体へ接続する前に行ってください。
- コードの前後を間違えないようにしてください。
- 配線色はすべて水色/白になりますので、コネクター端子位置を確認してください。
- マイナーチェンジなどにより接続位置が変更になる場合がありますので、目安としてご利用ください。
- リアルームランプに接続した場合、点灯が不安定になります。

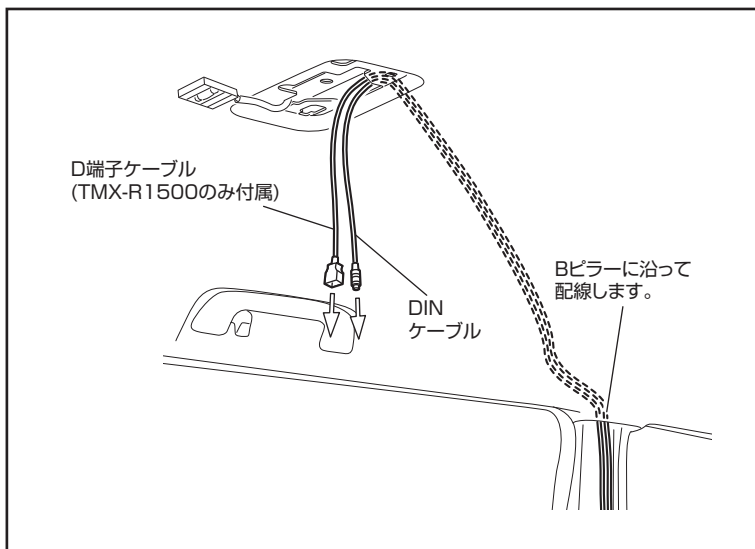


配線通しや針金などを使用して、ルームランプ側から開口部へルームランプケーブルを引き出してください。

2. フロント側のルームランプ配線にルームランプケーブルをエレクトロタップで接続します。
3. エレクトロタップの接続箇所にはクッションテープを巻いて保護します。



クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

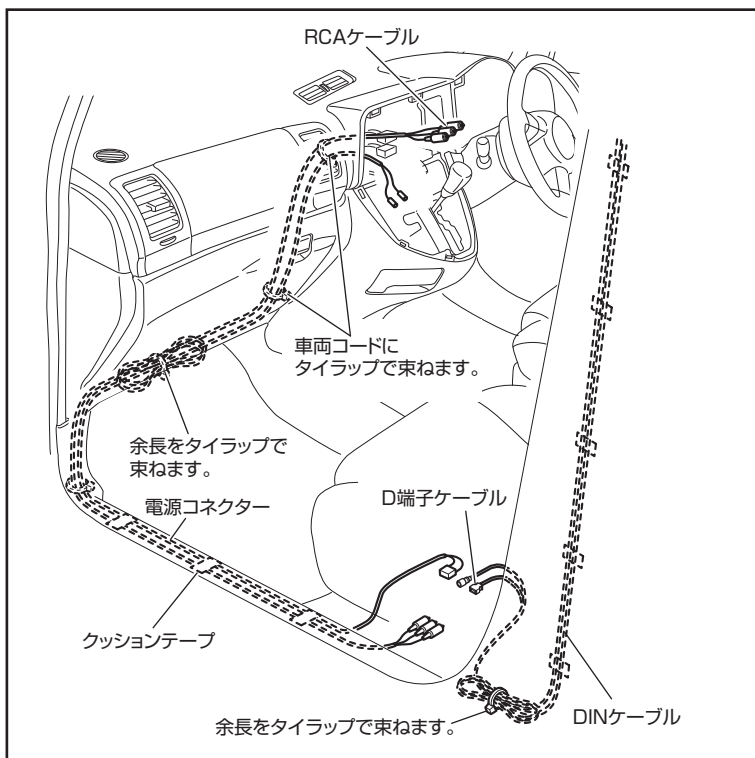


■各ケーブルの配線

1. 助手席側Bピラー部からルーフライニングの裏へ通し、ルームランプの開口部まで仮配線します。

⚠ 注意

- カーテンエアバックに干渉しないように配線してください。
 - シートベルトスライド部分に干渉しないようテープ等で固定してください。
 - ケーブル類は余裕をもたせて配線してください。
 - ケーブルの種類はリアビジョンによって異なります。取り付けるリアビジョンの取扱説明書を参照してください。
- | | |
|------------------|---------|
| 【TMX-R1500】 | P18～P22 |
| 【TMX-R1100】 | P18～P20 |
| 【TMX-R1050VG・GB】 | P13～P15 |



2. 各ケーブルを図の位置に配線します。

【TMX-R1500の場合】



配線は接続するシステムによって異なります。詳細はTMX-R1500の取扱説明書P19～P22「システムの接続例」を参照して配線してください。

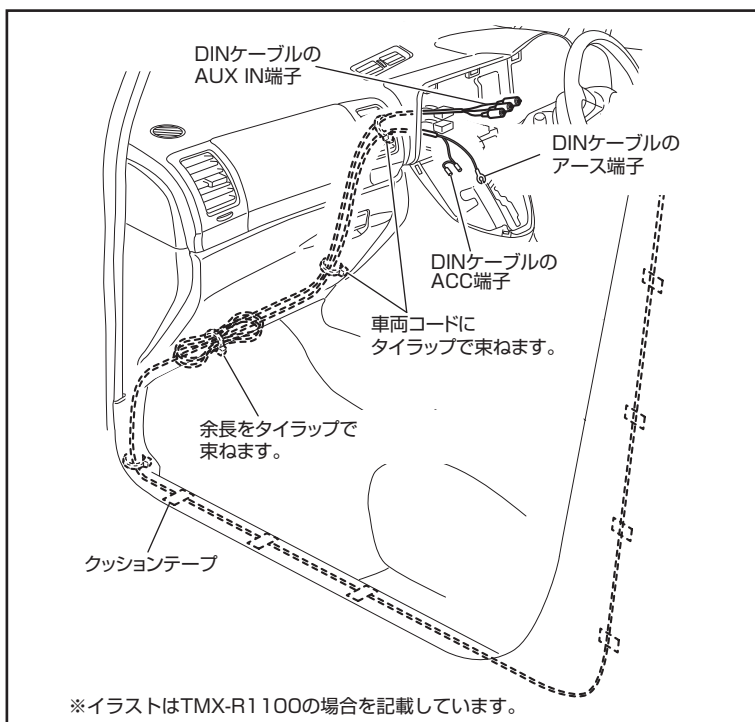
- 1) 助手席側Bピラー部からDINケーブルとD端子ケーブルを助手席下まで配線し、クッションテープで固定します。
- 2) RCAケーブル・電源コネクタをオーディオ取付部から助手席下の足元左側に配線しタイラップとクッションテープで固定します。
- 3) 余長を図の位置にタイラップで束ねて収納します。

⚠ 注意

ケーブルの前後を間違えないようにしてください。



サイドスカッフガーニッシュの取付クリップの位置を避けて配線してください。



【TMX-R1100/R1050VG・GBの場合】



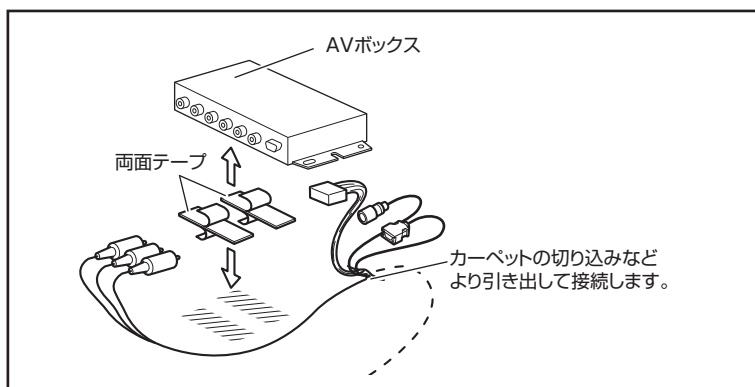
配線は接続するシステムによって異なります。詳細は各取扱説明書「システムの接続例」を参照して配線してください。

【TMX-R1100】	P19～P20
【TMX-R1050VG・GB】	P14～P15

- 1) DINケーブルを、助手席側Bピラー部からオーディオ取付部へ配線し、タイラップとクッションテープで車両ハーネスに固定します。
- 2) 余長を図の位置にタイラップで束ねて収納します。

⚠ 注意

ケーブルの前後を間違えないようにしてください。

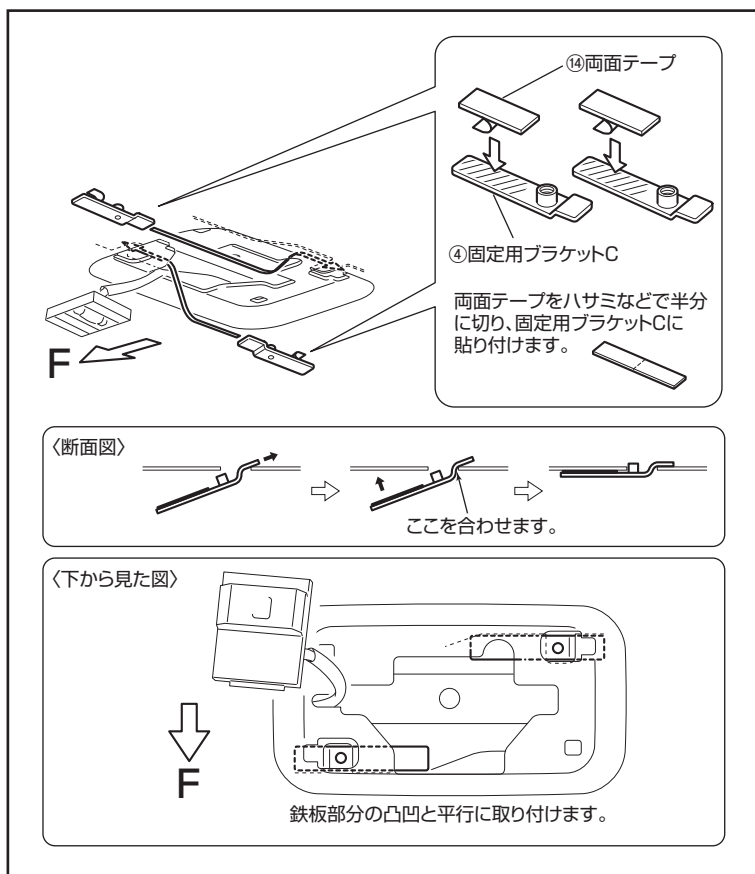


■AVボックスの取り付け (TMX-R1500のみ)

1. 各ケーブルを接続し、AVボックスを助手席下に両面テープで固定します。

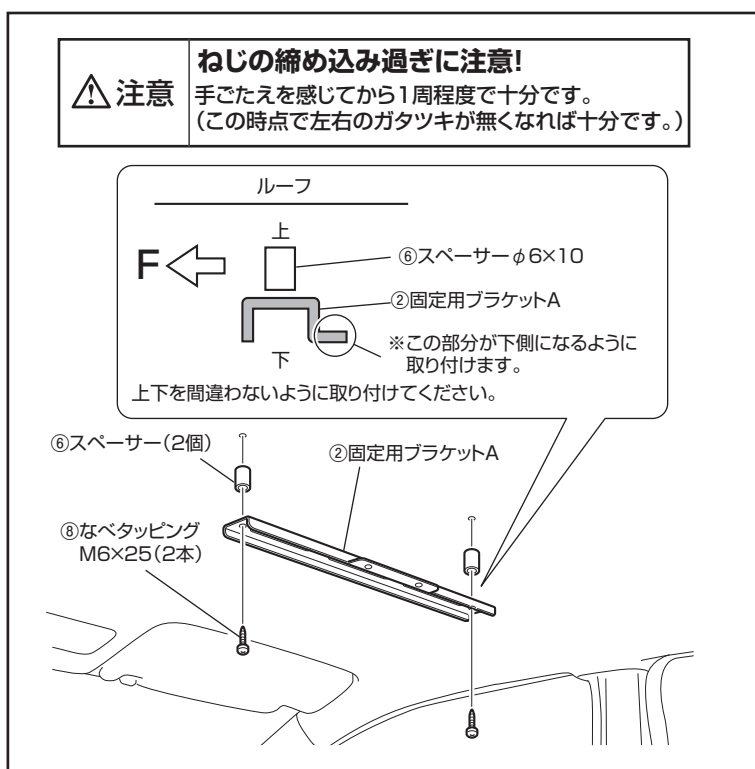


後部座席から足が当たらないように取り付けてください。



■固定用ブラケットCの取り付け

1. ルームランプ部に④固定用ブラケットCを取り付けます。



■固定用ブラケットAの取り付け

1. ②固定用ブラケットAをルーフライニングの樹脂ピンを外した穴に固定します。



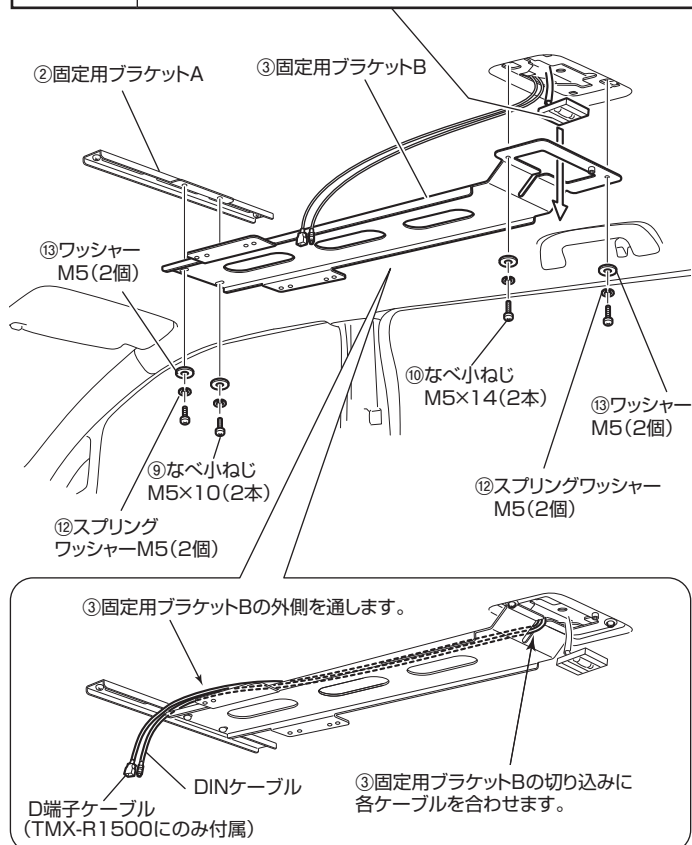
⚠ 注意 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。破損の原因となります。



②固定用ブラケットAとルーフライニングとの間に⑥スペーサーを入れます。



- ショート防止のため、ランプユニットをマスキングテープ等で絶縁してください。
- 配線を強く引っばらないでください。断線の原因になります。



■固定用ブラケットBの取り付け

1. ③固定用ブラケットBの先端を②固定用ブラケットAに固定します。
2. ③固定用ブラケットBをルームランプ部に仮固定します。



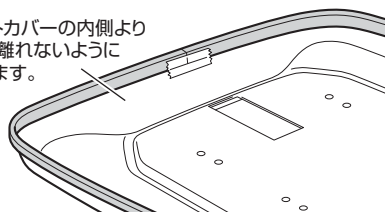
- 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。破損の原因となります。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

3. 各ケーブルを③固定用ブラケットBの切り込みに合わせ必要な長さまで出します。
4. 各ケーブルの長さが確定したら③固定用ブラケットBを固定します。



各ケーブルの長さを調整するため、ルーファイニングと③固定用ブラケットBの間にすき間を作っておきます。

固定用ブラケットカバーの内側よりモールの端面が離れないようにテープで固定します。



ルーファイニング

幅の広い方が内側

幅の狭い方が外側

⑤モール

1cmほど長めに切断

①固定用ブラケットカバー

■モールの取り付け

1. ①固定用ブラケットカバーのエッジに⑤モールを取り付けます。



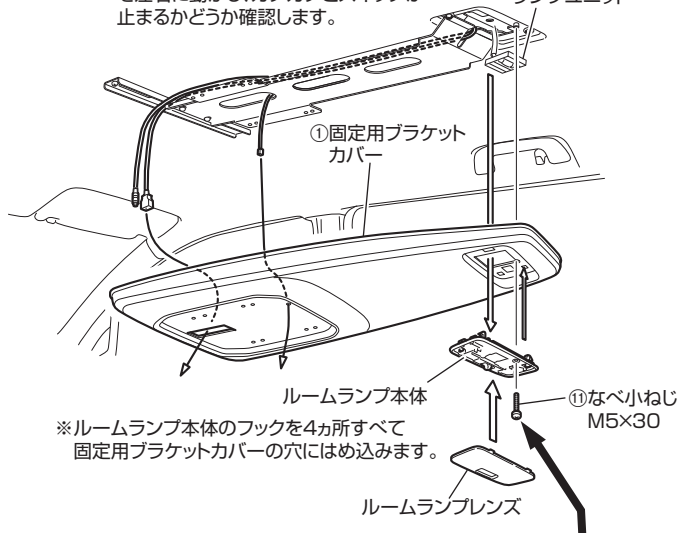
内装に直接触れる部分にセロテープは貼らないでください。セロテープの糊が内装に移る事があります。



Memo

1cmほど長めに切断して全体に馴染ませるとキレイにできます。

※ランプユニットを取付けた後スライドスイッチを左右に動かし、カチカチとスイッチが止まるかどうか確認します。



ねじの締め過ぎに注意!

ルーフと固定用ブラケットカバーの隙間が無くなれば十分です。締め過ぎるとランプユニットが外れてスライドスイッチがきかなくなったり、レンズが取り付けなくなります。

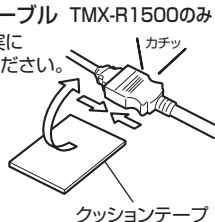
■固定用ブラケットカバーとリアビジョンの取り付け

1. ランプユニットを①固定用ブラケットカバーに通し、ルームランプ本体に元通りに取り付けます。(各ケーブルは左図の位置を通してください。)
2. ルームランプ本体を①固定用ブラケットカバーに取り付けます。
3. ルームランプレンズを元通りに取り付けます。

DINケーブル
奥まで確実に
接続してください。



D端子ケーブル TMX-R1500のみ
奥まで確実に
接続してください。



4. D端子ケーブル (TMX-R1500のみ)、DINケーブル、ルームランプケーブル (TMX-R1500/R1100のみ) をリアビジョンに接続します。
5. 各ケーブルの接続部にクッションテープを巻いて保護します。



クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

6. リアビジョンと①固定用ブラケットカバーを③固定用ブラケットBに固定します。ねじを締める順番は左下図を参照してください。



●電動ドライバーは絶対に使用しないでください。破損の原因となります。
●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。
●ねじの締めすぎに注意してください。

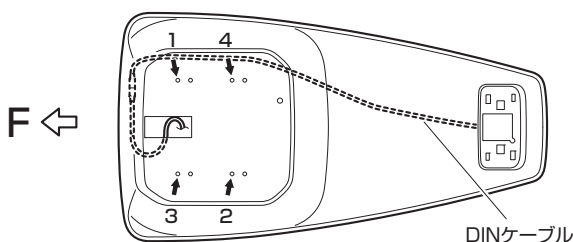
配線はカバーの奥へ押し込みます。
(※下図参照)

リアビジョン

⑦トラス小ねじM4×15(4本)

ねじ穴位置と配線位置

※番号順に締め付けます。



※上記イラストはTMX-R1500/R1100の場合を記載しています。
TMX-R1050VG・GBも同様に取付を行ってください

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)

- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX:048-662-6676

- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販社名	電話番号	住 所	担当 都道府県
北日本エリア			
仙台オフィス	022-239-5331	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東3-3-3	宮城県/山形県/秋田県/青森県/岩手県
札幌オフィス	011-621-4485	〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西24-3-1 カレラ円山3F	北海道全域
郡山オフィス	024-925-3811	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11-5-103	福島県
北関東エリア			
北関東オフィス	048-664-7701	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	東京都北・西部/埼玉県/群馬県/栃木県
松本オフィス	0263-26-0783	〒390-0847 長野県松本市管部1-3-7 オフィスGB205号	長野県/山梨県
新潟オフィス	025-385-1360	〒950-0208 新潟県新潟市江南区横越中央1-9-17 アルキオネカンダ103	新潟県
東関東エリア			
東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1 クサナギビル 2F	東京都東部/千葉県/茨城県
南関東エリア			
南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部/神奈川県/ 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア			
中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3-108	愛知県/三重県/岐阜県/ 静岡県(大井川以西) 石川県/富山県/福井県
近畿圏エリア			
大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	大阪府/奈良県/和歌山県
中四国エリア			
広島オフィス	082-846-1175	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本4-6-5	広島県/山口県/愛媛県/岡山県/ 島根県/鳥取県/徳島県/香川県
九州エリア			
福岡オフィス	092-627-4111	〒812-0853 福岡県福岡市博多区東平尾2-2-48	福岡県/大分県/佐賀県/熊本県/ 鹿児島県/宮崎県/長崎県/沖縄県
アルパイン京都販売(株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上鳥羽高島町88-2	京都府/滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	079-293-3554	〒670-0976 兵庫県姫路市中地41-3 2F	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒781-8122 高知県高知市高須新町3-10-8	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/ 島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/ 高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/ 宮崎県/沖縄県